

最近の話題・トピックス

「最近の肺炎の治療」

呼吸器内科 舟口 祝彦

肺炎は、現在、日本人の死因の第3位を占める重要な疾患です。2017年に日本呼吸器学会から「成人肺炎診療ガイドライン2017」が発行されました。肺炎は大きな分類としては、基礎疾患を有していない(または有していても軽微)、通常の家生活を送っている方に発症する「市中肺炎(CAP)」、何らかの疾患で入院中の患者さんに発症する「院内肺炎(HAP)」、そして、介護施設に入所中であつたり、自宅には居るものの寝たきりで介護が必要な方、定期的な人工透析や化学療法が必要な方などに発症する「医療・介護関連肺炎(NHCAP)」の3つのタイプに分類されます。CAPの原因菌として、細菌性肺炎では肺炎球菌、インフルエンザ菌など、非定型肺炎ではマイコプラズマ、肺炎クラミドフィラ(クラミジア)、レジオネラが重要です。HAPではMRSA、緑膿菌などの耐性菌の頻度が多くなります。NHCAPでは誤嚥性肺炎の頻度が高く、口腔内レンサ球菌や嫌気性菌を考慮する必要があります。

現在の日本における肺炎診療では高齢者肺炎、特に誤嚥性肺炎が問題になっています。反復性の誤嚥性肺炎や、癌などによる終末期における肺炎、老衰状態での肺炎患者さんは、治療で一時的に病状が改善してもいずれまた肺炎を起こします。このように、治療をしても、本人の人生をより豊かにできず、かえって辛い時期をもたらすだけだと考えられる場合には、「緩和ケア」を主体とした治療を行うことを、日本老年医学会の「高齢者ケアの意思決定プロセスに関するガイドライン」では推奨しており、肺炎診療ガイドラインでもその方針を採用しています。終末期にどのような治療を行うかは、厚生労働省の「人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン」に則り、医療チームを作り、本人や家族への十分なインフォームドコンセントの上で、医学的妥当性と適切性を基に慎重に治療方針を決めることが勧められています。

治療に関しては肺炎の重症度や耐性菌リスクの有無により治療の場や抗菌薬の種類を決めていきます。従来のガイドラインでも重症度により治療方針を決めていましたが、2017年版では重症かどうかを判断する材料として敗血症の有無が取り入れられ

ています。敗血症は感染症の中でも特に重症で、内臓機能が障害されている状態を意味しており、敗血症ではただ単に抗菌薬を投与するだけでなく、適切に臓器障害を評価し、ICUなどでの集中治療、全身管理を行うことを推奨しています。

予防に関しては、肺炎球菌ワクチンが重要で、23価莢膜多糖体型肺炎球菌ワクチン(PPSV23:ニューモバックスNP®)および13価蛋白結合型肺炎球菌ワクチン(PCV13:プレバナー13®)があります。PPSV23は、2014年10月から高齢者の方を対象とする定期接種になっています。接種費用の一部が公費で賄われますが、その補助額は市区町村によって異なります。岐阜市では2019年度から対象者が、(1)65歳の人、(2)60歳以上65歳未満で、心臓、腎臓、呼吸器の機能障害またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能障害があり、身体障害者手帳1級に相当する人、となります。定期接種制度によるPPSV23の接種をまず念頭に置き、PCV13とPPSV23の連続接種(PCV13からPPSV23までは6カ月から4年以内の間隔を空けて、PPSV23からPCV13までは1年以上の間隔を空ける)も選択することができます。

最後に、当科では呼吸器感染症の診断・治療の他、肺癌の診断・治療、胸部画像診断、COPD・喘息でお困りの症例など幅広い呼吸器疾患に対応させていただきたいと考えています。また当院においては患者サポートセンターを設立し、先生方にご紹介いただいた患者さんをスムーズに受け入れさせていただく体制を整えています。先生方のお役にたてるような診療と連携を心掛けておりますので、よろしくお願ひいたします。

*** 新任医師のご紹介 ***



4月より
消化器内科
教授
さかもと なおゆき
坂元 直行



4月より
消化器内科
助教
むかい りえこ
向井 理英子



4月より
眼科
講師
さもと だいすけ
佐本 大輔



4月より
脳神経外科
助教
ささき のぞみ
佐々木 望



診療医ご案内

(平成31年4月1日現在)



診療科		月	火	水	木	金	土
消化器内科	初診	尾松	八木	八木/坂元	向井	北江 (非常勤)	担当医
	予約診	小島	大洞	小島	中畑	福田	—
	予約診	八木	林	尾松	坂元	向井	—
循環器内科		瀬川	藤井 (非常勤)	瀬川	瀬川/伏屋	次田	土井 (心臓血管外科) (月1回不定期)
		田中(新) 田中(隆)(午後)	伏屋	田中(新)	渡辺 (非常勤2・4週)	瀬川	担当医
腎臓内科		大橋(宏)	大野	大橋(宏)	操	大野	大橋(宏)
総合内科		大橋(宏)	大野	大橋(宏)	操	大野	大橋(宏)
糖尿病・内分泌内科		佐々木(昭)	武田	梶浦	杉本	杉本	武田
		杉本/梶浦	杉本	佐々木(昭)	佐々木(昭)/梶浦	武田	佐々木(昭)
呼吸器内科		豊吉	舟口	柳瀬 (非常勤)	舟口	豊吉	豊吉
外科		久米	市川	久米	太和田	太和田	担当医
		操	—	—	—	市川	—
乳腺外科	1診	川口	川口	川口	川口	川口 (2・4週目)	担当医 (予約診のみ)
	2診	—	名和 (非常勤)	—	中神 (非常勤)	—	
脳神経外科		石澤	郭	岡	石澤	担当医	郭
		岡	佐々木(望)	加納	佐々木(望)	—	加納
整形外科	初診	河合・足立	川島(至)	塚田/山賀 (2・4週目)	青芝	前田	担当医
	予約診	—	塚田	前田	河合	大友	—
	予約診	青芝	今泉	日下	川島(至)	日下 中島(午後)	今泉 (第1週)
	予約診	—	—	足立	塚原	今泉	塚原 (第2週)
眼科	1診	佐本	佐本	佐本	—	佐本	—
	2診	—	—	矢田	矢田	矢田	—
泌尿器科		江原(英)	土屋 (非常勤)	江原(英)	江原(英)	江原(英)	—
婦人科	1診	藤本	川島(英) (嘱託医)	川島(英) (嘱託医)	藤本	藤本	藤本 (不定期)
	2診	川島(英) (嘱託医)	藤本 (不定期)	—	川島(英) (嘱託医)	川島(英) (嘱託医)	—
放射線治療科		田中(修)	—	田中(修)	田中(修)	田中(修)	—
頭頸部外科	初診	長谷川	長谷川	非常勤	長谷川	長谷川	—
歯科・口腔外科		村松 江原(雄)/大橋	松原/高橋 大橋(静)	中島/江原(雄) 鷗飼	齋藤/高橋 大橋(静)	鷗飼・松原 大橋(静)	担当医

[ご案内] ●診療受付時間は、全科8:00~11:30、ただし、初診の方は、11:00で受付終了。(救急・急患の場合は、この限りではありません。)
●年度変わりの時期や学会出張により、診療医が変更することがありますので、予め確認が必要である方は、お電話でお尋ねください。